

大阪・関西万博 兵庫棟(仮称)等展示基本計画

概要版



ひょうごフィールドパビリオン

OurField, OurSDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

関西パビリオン (イメージ)
[提供: 関西広域連合]

兵庫県立美術館



令和5年3月16日
兵 庫 県

万博会場の兵庫棟（仮称）と県内拠点である兵庫県立美術館において、ひょうごフィールドパビリオンや県内企業の最先端技術など、**兵庫の多彩な魅力を展示を通じて発信**

万博会場

（関西パビリオン内、面積：約160㎡）

展示コンセプト

時空を超えた旅で兵庫県の魅力を体感するアトラクション型映像空間

HYOGO
ミライバス
- 体験型の全天周SDGs空間 -

展示概要

全天周の圧倒的な映像で臨場感を演出し、
時空を超えたひょうご五国を味わうバスツアー

兵庫県立美術館

（3階ギャラリー、面積：約620㎡）

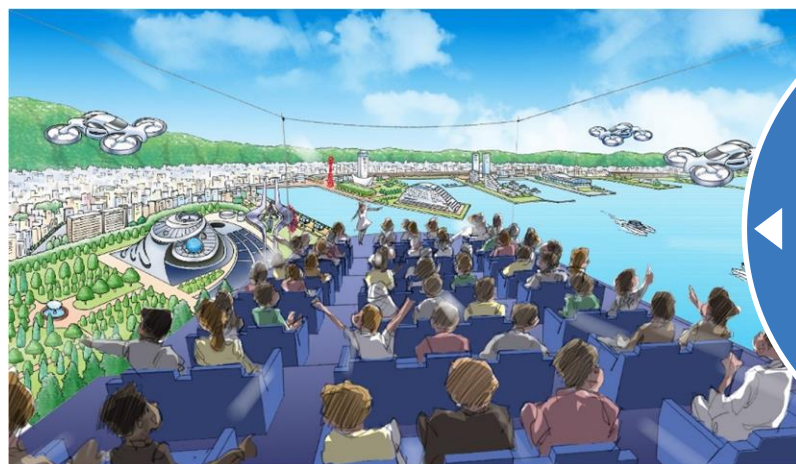
展示コンセプト

参加型の展示体験で、ワクワクしながら
兵庫の魅力を発見し体感できる空間

&future HYOGO
- 持続可能な未来のヒント -

展示概要

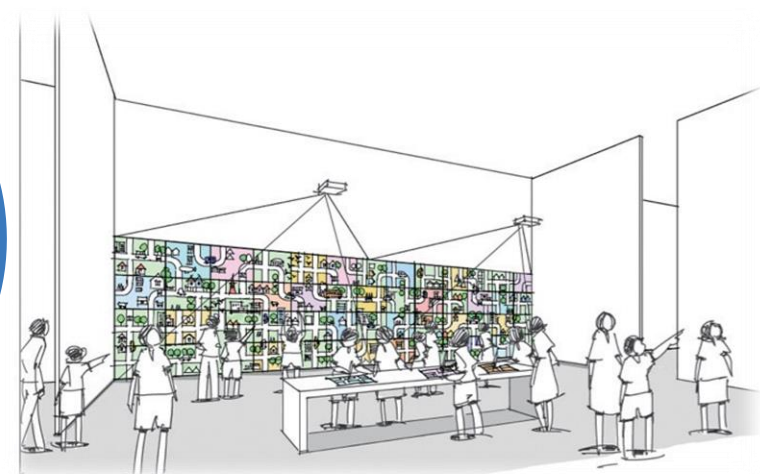
3Dアバターで周遊する未来型の観光体験や、
子どもが描く未来の兵庫を「ロゼクションマッピング」で発信



目標来場者数

100万人

兵庫棟（仮称）…………… 40万人
兵庫県立美術館 …………… 60万人

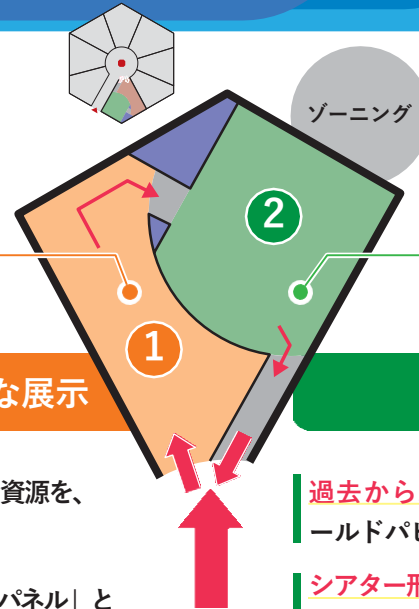


※画像はイメージ

ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、県内各地への誘客を促進

1 ウェイティングゾーン ～兵庫四次元の回廊～

メインホール入場前の待合空間



2 メインホール ～ミライバス～

兵庫をめぐるアトラクション型映像を体験できる大型シアター空間
(最大90名程度が収容可能)

兵庫に出会い、兵庫を感じる多彩な展示

場所・時代・ジャンルを問わない兵庫の多彩な資源を、写真やイラストで展示

「暗い曲線形状の空間」と「明るい壁面・天井面パネル」との対比で、四次元の回廊を表現。

思わず兵庫棟に入りたくなるような、ワクワク感あふれる空間を演出。



※メインホールの演出にリンクするストーリー性ある展示構成にすることを展示設計で検討

※言語を用いずに空間の演出で誰もが楽しめる展示を検討。

バスガイドのおもてなしによる時空を超えた全天周バスツアー

過去から未来の時空を超えた旅をお届けする“ミライバス”に乗って、ひょうご五国を巡る。ひょうごフィールドパビリオンや兵庫を代表する観光名所、医療・産業等の最先端技術など、兵庫の多彩な魅力を発信。

シアター形式（階段状の着席型）で、全天周(正面・左右・天井)スクリーンを採用。体感音響装置を設置しバスの揺れを再現するなどのアトラクション要素あり。

バスガイドの案内にあわせ左右に視点を切り替えながら陸・海・空を自在に走る、圧倒的な臨場感を味わえる空間を演出。

シアター形式の会場特性を生かし、フィールドパビリオンプレイヤーとのトークセッション等が展開可能。

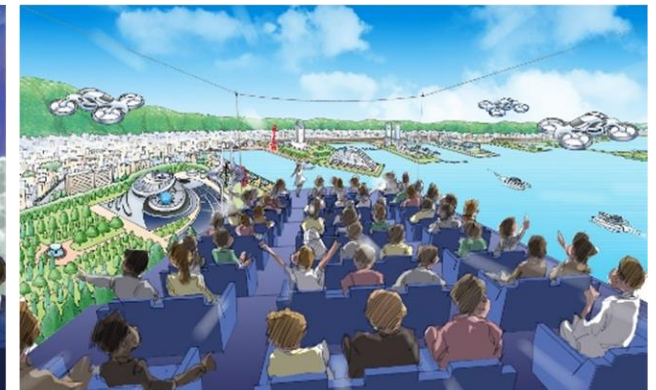
過去



※映像は1回あたり10分程度を想定

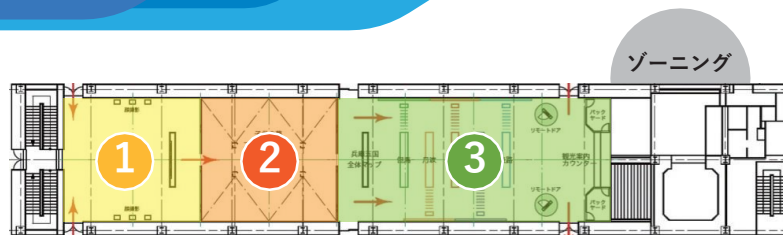
※映像コンテンツやストーリーなどの詳細事項は展示設計で検討

未来



※画像はイメージ

兵庫県立美術館



1

アバター体験ゾーン

3Dアバターで巡る非日常的な観光体験

ゾーン内に設置されたモニターで来場者の顔写真を撮影し、3Dアバターを作成。

中央の3面マルチモニターに映し出された兵庫の名所等を3Dアバターが周遊する観光の疑似体験。SNS等での情報拡散や話題性の創出につなげる。

※QRコード等を用いてアバター映像を持ち帰り可能な仕様を検討
 ※アバター視点を交えるなど、普段見ることのできない視点からの観光体験を検討



2

子どもの夢アトラクションゾーン

子どもたちが主役となって共創した未来の兵庫をプロジェクションマッピングで発信

万博開催前に「子どもの夢プロジェクト」で集めた未来の兵庫に関する作品をデジタル化し、プロジェクションマッピングで壁面に投影。

来場者用のイラスト作成スペースを設置し、その場で描いたイラスト等が、壁面に投影された映像の中に入り込むような仕様を計画。



3

兵庫の魅力発見ゾーン

見て、触って楽しむハンズオン展示とリアルでつながるデジタル展示の融合

フィールドパビリオンをはじめとした地域資源の現地情報等を検索できる仕組みを計画。あわせて、兵庫の産業資源等への興味を喚起するハンズオン展示を実施。

フィールドパビリオン現地と映像でつながりリアルタイム交流など、プレーヤーと来場者の交流機会を創出。



※画像はイメージ

誘客



兵庫棟
（仮称）

万博会場来場者や関西パビリオン来場者等に対する誘客施策を計画。
催事スペース等を活用した会場内でのトークセッションやイベントの開催など、効果的な誘客施策を検討。

兵庫県立美術館

兵庫棟（仮称）来場者や県立美術館の近隣施設との連携による誘客施策を計画。
兵庫県版テーマウィークを設定し、テーマに応じたPR・誘客施策をあわせて検討。

その他の
誘客施策

万博専用サイトの構築や広告・SNS等を活用したプロモーションの展開など、戦略的な広報を実施。
万博開催の500日前などの節目に、カウントダウンイベント等の実施により機運を醸成。
関西広域連合が実施予定のwebパビリオンとの連携も今後検討。

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
展示設計	→ 展示設計		
展示制作		→ 展示制作	
			→ 運営

運営計画

基本方針

関西パビリオンをはじめとした万博会場や兵庫県立美術館と連携し、各展示場所における最適な個別計画を検討

個別計画（想定）

エバーグリーンデザインの視点を踏まえたホスピタリティ計画

運営体制計画

警備計画

救護・衛生管理計画

清掃・ごみ処理計画

消防防災計画

保険等の計画

ブース展示の魅力をもっと活かす
安全・安心な運営を実現

大阪・関西万博 概要

名称	2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
開催場所	夢洲（大阪府大阪市臨海部）
開催期間	2025年4月13日（日）～10月13日（月） 184日間
来場者数	約2,820万人（想定）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン “Designing Future Society for Our Lives”
サブテーマ	Saving Lives(いのちを救う)、Empowering Lives(いのちに力を与える)、Connecting Lives(いのちをつなぐ)
コンセプト	People’s Living Lab(未来社会の実験場)

関西パビリオン 概要

テーマ いのち輝く関西悠久の歴史と現在

基本構成

- 1 関西全体を表現する展示スペース
関西パビリオンのエントランスとして、関西各府県を一体的に表現する展示スペース
- 2 **出展参加府県による独自展示スペース**
出展参加府県が来館者に訴求したいポイントに沿い、**参加府県それぞれが趣向を凝らした展示を展開するスペース**
- 3 WEBパビリオン
WEB上でもパビリオンを展開し、リアルのパビリオンとも共鳴させ、可変自在な展示を展開

